

1. 件名：日本原子力研究開発機構原子力科学研究所及び核燃料サイクル工学研究所の事業者防災訓練に関する意見交換について

2. 日時：令和5年3月24日 15:00～16:00

3. 場所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

蔦澤防災専門職、澤村防災専門官、本間防災専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括本部安全管理部危機管理課 主査 他10名

5. 要旨

日本原子力研究開発機構から、令和5年2月21日に実施した同機構原子力科学研究所及び核燃料サイクル工学研究所の原子力事業者防災訓練で確認された問題点・課題、原因分析、原因分析を踏まえた対策について、ERCプラント班との訓練後の振り返りや所内評価結果も踏まえまとめた資料1、資料2及び資料3に基づき説明があった。

原子力規制庁から、以下の事項について対策を検討し、今後の原子力防災対策に向けた改善点として、防災訓練実施結果報告書にまとめるように伝えた。

- ・ 機構本部の改善事項であるERCへの「伝わる」情報発信について、ERCに提供する情報量が多くなる場合は、簡潔な説明を行うことも検討すること。
- ・ 核燃料サイクル工学研究所の「改善事項」である複数拠点からの緊急性を考慮した情報共有について、機構本部では「更なる改善事項」とされているので、機構全体として位置づけの整合性を検討してはどうか。
- ・ 原子力科学研究所の「改善事項」である複数拠点からの視覚情報を用いた情報共有について、核燃料サイクル工学研究所では「その他の改善事項」とされているので、機構全体として位置づけの整合性を検討してはどうか。
- ・ 原子力科学研究所の改善事項である発災施設からのプラント情報の現地対策本部内での情報共有について、電子的な共有も含めて効果的な手段を検討すること。
- ・ 核燃料サイクル工学研究所のその他の改善事項である、情報統括者

等の指示が機構TV会議システム等の音声に紛れ、正しく伝わったのかが分からなかったことについて、訓練モニタが聞き取れなかっただけで、プレイヤー間の情報伝達が問題ないのなら改善点とする必要があるか検討してはどうか。

日本原子力研究開発機構から、防災訓練実施結果報告書としてまとめ、後日説明するとの回答があった。

6. その他

配布資料

- 資料1：令和4年度 原子力科学研究所/核燃料サイクル工学研究所総合訓練で抽出した課題と対策について（日本原子力研究開発機構安全・核セキュリティ統括本部安全管理部）
- 資料2：令和4年度 核燃料サイクル工学研究所総合訓練で抽出した課題と対策について（日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所）
- 資料3：令和4年度 原子力科学研究所総合訓練で抽出した課題と対策について（日本原子力研究開発機構原子力科学研究所）